

東京のまちづくり

特集1 都立公園の多面的な活用を推進します

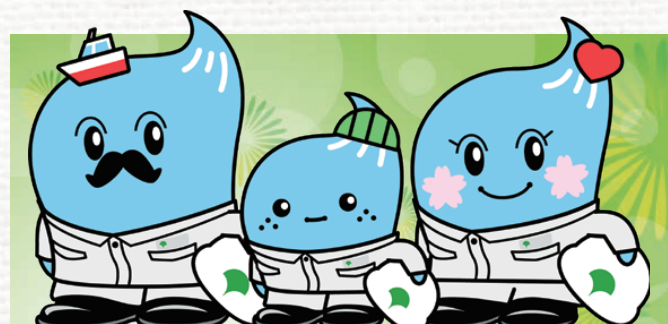
特集2 河ガール(河川部女性職員)が河川事業を紹介します



上野恩賜公園のオープンカフェ(H24)



駒沢オリンピック公園にオープンした飲食店(H29)



東京の河川PRキャラクター「かわいごちゃんファミリー」

都立公園の多面的な活用を推進します

都では、公園に求められる多様なニーズに対応していくため、都立公園がもつポテンシャルを一層発揮させる「多面的な活用」の取組を推進しています。問い合わせ先：03-5320-5168

都立公園の機能

都立公園は、都市における貴重な緑とオープンスペースであり、大きく分けて4つの重要な機能があります。こうした重要な機能を確保・向上する取組を進めます。

やすらぎ・レクリエーション



景観



自然環境・生物多様性保全

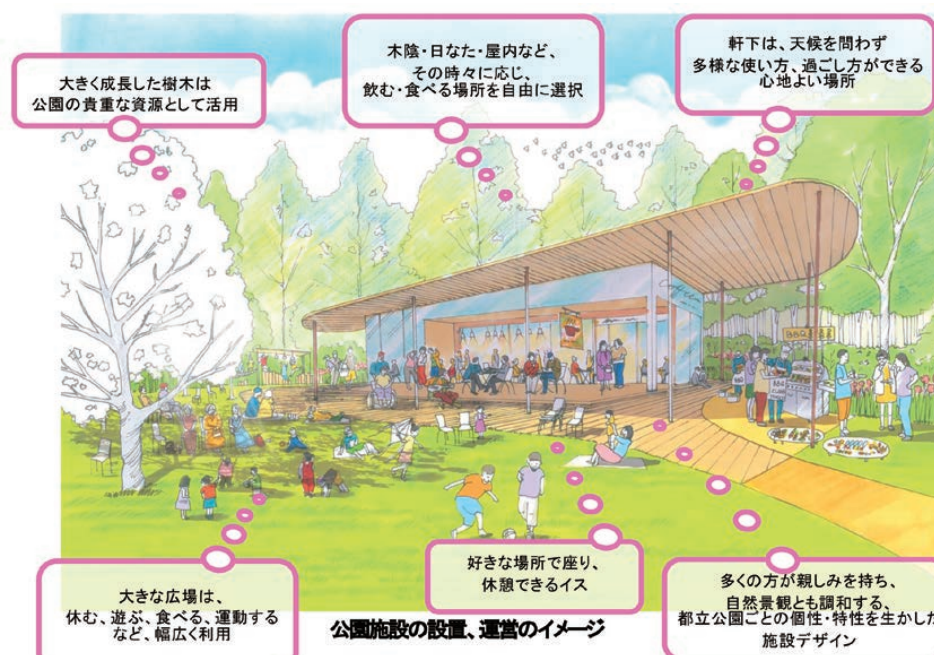


防災



多面的活用のイメージ

都立公園内で民間事業者等が公園施設の設置・運営を行い、公園ごとの個性・特性を活かしながら、様々な楽しみ方を提供し、誰もが居心地良く過ごせる空間を創出します。



出典：東京都公園審議会答申
「都立公園の多面的な活用の推進方策について」

これまでの取組

平成24年4月、上野恩賜公園に2つのオープンカフェを開設しました。
また、平成29年3月には、駒沢オリンピック公園に、民間事業者が店舗のデザイン・建築から運営までを一貫して手掛ける飲食店がオープンしました。利用者ニーズに合ったメニューや多彩なイベント等により、公園に新たな賑わいが創出されています。また、売上の一部は都立公園の魅力アップ等に活用されるとともに、災害時には、徒歩帰宅者等の支援を行う施設として活用されます。右下の写真は、粉ミルクや携帯用充電器など、店舗に備えている防災備蓄品の一部です。



現在及び今後の取組

・木場公園における多面的な活用

民間事業者のアイディア・ノウハウをこれまで以上に発揮するため、木場公園の広場に飲食店を設置するなど、多様な人々を惹きつける場を創出します。



木場公園の広場

・マーケットサウンディング調査

多面的な活用の取組を推進するため、区部北部及び多摩地域の42公園を対象に、民間事業者から公園ごとの市場性や活用のアイディアを伺う、マーケットサウンディング調査を実施しました。本調査の結果も参考に、都立公園の魅力をもっと高める取組を進めていきます。



【左：6月に死亡したケンタ 右：ボンボン】

チンパンジー「第1位オス」の交代

多摩動物公園 北園飼育展示係 佐藤澄音

チンパンジーは群れをつくり、社会性を持つ動物です。群れには群れの秩序を保つ、オスの第1位のチンパンジーがいます。多摩動物公園の歴代の第1位オス(アルファオスともいいます)として、初代はジョーが約15年間、2代目はケンタが約20年間務めてきました。ケンタは群れの中でケンカが起これば仲裁に入り、群れの秩序を保ってきました。

しかし、2017年の秋頃からケンタの第1位オスとしての立場は大きく揺らいできました。ボンボン(12歳)という若いオスが台頭してきたからです。ボンボンは、ケンタよりも体格が大きく、動きも機敏で、仲間からもその力を認められつつありました。同じ頃、群れ内でケンカが起きると、ケンタは仲裁に加わらずに静観し、ボンボンが仲裁する機会が増えていました。ボンボンは上手にケンカを仲裁できないことがあり、このような場合はケンタが群れの仲間から頼られていることもありましたが、ケンタは2018年6月29日に37歳の生涯を閉じました。

これからボンボンはケンタの助けを得ずに群れをまとめなければなりません。ボンボンはまだ若く、群れの秩序を保てるか心配な点もありますが、成長するにつれてその役目を全うしてくれることを期待しています。

動物園の“かお”

多摩動物公園
ユキヒョウ



多摩動物公園のユキヒョウです。6月に1歳を迎えた「フク」(オス)にぜひ会いに来てください。